

復興進む福島県檜葉町の魅力を伝えたい！！
ならは
檜葉町立檜葉北・南小5・6年生制作
檜葉町のCM 4種類 発表
生徒が実体験をもとに町の良さを15秒で表現
CMは、町のホームページ等で公開

福島県双葉郡檜葉町立檜葉北小学校、檜葉南小学校と環境省は、5、6年生の授業の一環として「檜葉町のCMづくり」に取り組み、2月23日（金）に実施された授業参観にてCMの完成発表を行いました。

CMづくりの授業は、復興が進む福島県檜葉町の魅力を発見し、伝える事を目的に、生徒の実体験をもとに異なる4種類のCMが完成しました。

完成したCMは檜葉町のホームページでご覧いただけます。

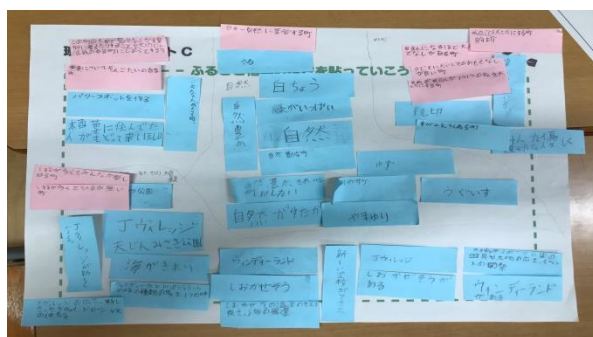
<http://www.town.naraha.lg.jp/information/info/001736.html>

なお、環境省は、檜葉町の地域活性化を目的に、檜葉町立檜葉北・南小学校と本事業を推進しました。

【授業の様子】



授業内ワークショップの様子



授業内ワークショップの結果



撮影の様子①



撮影の様子②

※撮影の様子にはマスメディアのTVカメラも含まれています

CMタイトル:「かえってきたよ」 Aチーム(6年生)

震災後にできた町並みを眺める少女が一人。

スーツケースを引いて町に入ると、そこには家族や近所の人たちが少女を待っていました。

少女が帰ってきた新しい町には、楽しげに遊ぶ子や楽しそうに話すみんながいました。

町の姿は変わったけど、変わらない幸せな人々の暮らしがある、そんな檜葉町を表現したCMです。

制作したCMについて

■CMコンセプト

- ・かわったけど、かわらない町、檜葉

■このコンセプトに決めた理由は？

- ・震災前と比べて檜葉の風景は変わったけど、町としての在り方は変わっていないと思ったから

■コンセプトを決めるのに苦労したところは？

- ・檜葉町が次のステップに進もうとしているところを変わらない町として表現するところ

■CMをつくるときに大変だったことは？

- ・みんなの考えをまとめるところ

■CMのみどころは？

- ・色々な年代の人が出演することで、人と人との関わりが分かるところ
- ・町のなかで子供たちがかけ回することで復興した檜葉の様子を伝えたところ
- ・家族のあたたかさ

制作したCM(キャプチャ)



①「新しくなった檜葉町」



②みんな「おかえり〜」



③少女「ただいま」、母親「おかえり」



④少女「変わったね」、
母親「住みやすくなったよ」



⑤ゆず太郎「景色は変わったけど、檜葉
の良さは変わらないな」



⑥全員「ハイ、チーズ！！」



檜葉町
HINABA TOWN



環境省
Ministry of the Environment

⑦クレジット

CMタイトル:「う、う、うれしい ナラハ」 Bチーム(5年生)

ある日のこと、子どもたちが道を渡ろうとしていると、車が急に止まり運転席から怖そうな男性が出てきました。怖がる子どもたちを前に男性は、子どもたちが安全に道を渡るのを手助けしてくれます。それにお礼を言う子どもとやさしく見守る男性。

檜葉町には他人を気遣うやさしい人がいる、その人の良さを表現したCMです。

制作したCMについて

■CMコンセプト

おもてなしが良い町、檜葉

■このコンセプトに決めた理由は？

- ・檜葉町の人の良さをみんなに知ってほしいから
（「道を渡ろうとすると車が止まってくれる」というエピソード）

■コンセプトを決めるのに苦労したところは？

- ・多くの意見から1つにまとめること
- ・施設のことを伝えるか、人の良さを伝えるか、テーマに迷った

■CMをつくるときに大変だったことは？

- ・檜葉の良さをまとめること
- ・う、う、うれしい ナラハの振り付け

■CMのみどころは？

- ・先生の表情(効果音:シャキーン)
- ・う、う、うれしい ナラハの振り付け

制作したCM(キャプチャ)



①「ある日のことでした」



②「みんなが道路をわたろうとしていると」



③男性「オイ！！」



④（やさしい言葉）「行きな！（シャキーン）」



⑤こどもたち（驚く）



⑥こどもたち「ありがとうございます」



⑦「人が優しいから」



⑧「う、う、うれしい ナラハ」



⑨クレジット

CMタイトル:「遊べて汗をすぐ流せる町」 Cチーム(6年生)

天神岬公園で遊んでいる男の子二人。大量の汗をかいています。

レストランで郷土料理の「マミーすいとん」を食べる男の子二人。大量の汗をかいています。

木戸川で榎葉町の名産品のサケを捕まえている女子二人。これまた汗をかいています。

みんなでジャンプすると、天神岬「しおかぜ荘」の温泉へ。

遊ぶところがあって、そしてすぐ近くに汗を流せるところがある、榎葉町の名産や名所を紹介するCMです。

制作したCMについて

■CMコンセプト

- ・すぐに汗が流せる町、榎葉

■このコンセプトに決めた理由は？

- ・天神岬にすぐ行けるから

■コンセプトを決めるのに苦労したところは？

- ・アイデアがすぐに出ず、話し合いがなかなかすすまなかったところ

■CMをつくるときに大変だったことは？

- ・とても寒い中、汗の演出をするために顔をびしょびしょにしたこと
- ・移動が大変だったこと

■CMのみどころは？

- ・榎葉町の良さを表現した三つのシーンから全員が温泉に浸かるシーンへの場面転換

制作したCM(キャプチャ)



①男の子「楽しい〜」



②(遊んで汗をかく)



③男の子「おいしい」



④(食べて汗をかく)



⑤「獲ったどー」(汗をかく)



⑥全員「せーの！」(ジャンプ)



⑦(温泉につかる)「は〜あ」



⑧「たくさん遊べて」
「汗をすぐながせる町 榎葉」



⑨クレジット

CMタイトル:「自然と学べる」 Dチーム(5年生)

檜葉町のゆるキャラである「ゆず太郎」が先生の「檜葉町自然学校」が開校。

ゆず太郎先生が、木戸川の「サケ」、樹齢千年を超える「じい杉、ばあ杉」、弥生時代の墓地がある「天神原遺跡」を紹介しています。檜葉町の自然や名所を紹介するCMです。

制作したCMについて

■CMコンセプト

- ・学びのある自然が多い町、檜葉

■このコンセプトに決めた理由は？

- ・檜葉町のほとんどが自然だから

■コンセプトを決めるのに苦労したところは？

- ・檜葉町ならではの自然を決めたところ

■CMをつくるときに大変だったことは？

- ・1場面ごとに色々な場所に行って、表情をつくって撮影したところ

■CMのみどころは？

- ・天神岬の遺跡からガイコツが出てくるところ

制作したCM(キャプチャ)



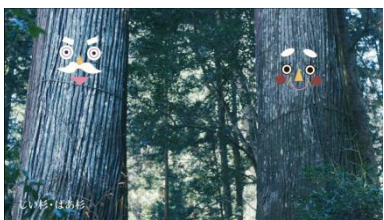
①全員「檜葉町自然学校開校」



②女の子「3、4年かけて生まれた川にもどってきたよ」



③ゆず太郎「すごい」



④じい杉、ばあ杉
「千年もの歴史があってここまで大きくなったよ」



⑤ゆず太郎「大きい」



⑥天神原遺跡 ガイコツ
「檜葉町のことはわかったか？」



⑦ゆず太郎「うん！」



⑧全員「自然と学べる檜葉町」



⑨クレジット

【本リリースに関するお問い合わせ先】

檜葉町CMづくり 報道担当: 井澤 敏彦

TEL: 03-6263-9168